

# 子育て楽しむならせとうち

こどもひろば  
推進事業  
-基本理念-

## 外遊びを楽しむまち。瀬戸内市

-基本方針-

「あんしん」人がいるから安心する、楽しくなる

「あったか」市民、市全体でこどもを見守る

「よくあそぶ」もっと自由に遊べる場をつくらう

「みんながつながる」こどもをまんやかに全世代がつながる

第2期みんなでつくる瀬戸内市の  
こどもひろば基本計画



瀬戸内市は、株式会社ボーネルンドと「瀬戸内市こどもひろばパートナー協定」を締結しています。



# いいまちには、あそびがある。



きっかけ

「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」  
～そんな子育て世代の声から生まれた取組です。

充実してほしい  
子育て支援は?

子連れでも出かけやすく楽しめる  
場所を増やしてほしい (公園など)



老化した遊具

<市の主要施策に位置付け>



第3次瀬戸内市総合計画に  
事業掲載

実現  
したコト

- 資料：「瀬戸内市子ども・子育てニーズ調査」令和6年3月（瀬戸内市）  
※前回調査：「瀬戸内市子ども・子育て支援に関する調査」平成30年度（瀬戸内市）
- 国の交付金を活用 内閣府地方創生推進交付金（令和2～4年度）  
事業名：「子どもと過ごす瀬戸内市ライフプロジェクト」  
瀬戸内市の交付金事業が、少子化対策の取組事例として全国で紹介される（令和4年）  
→内閣官房内閣府総合サイト 少子化対策に資する分析や好事例等の各種情報
- 全国自治体初！遊び環境充実に向けて、株式会社ボーネルンドとパートナー協定を締結
- 他さまざまな民間事業者と連携  
こどもひろばサポートの業務委託：社会福祉法人 瀬戸内市社会福祉協議会  
安全運転講習協力：生活協同組合 おかやまコープ  
企業の敷地でこどもひろばの開催・社員ボランティアの参加協力
- 移動遊び場「プレーカー」を導入・運行の開始（令和2年9月）
- 地域児童遊園地遊具等整備事業補助金の拡充
- こどもひろばプロジェクトに対する寄附実績（令和2～6年度）  
ふるさと納税個人版約10,700件、企業版13件 令和7年1月末時点
- 「こどもひろば」の文字ロゴ作成

実績  
令和2年度からの累計  
こどもひろば  
参加者数  
約21,000人  
約600回開催  
(令和7年1月末時点)



市の主な子育て支援策  
12のコトに掲載

まだまだ課題

これから!

瀬戸内市ホームページ  
(こども家庭課)



- 「こどもひろば」の人づくり  
～こどものあそび、遊び場づくりを普及啓発
- 地域主体の「こどもひろば」づくり  
～地域資源を活用した、外遊び体験、遊び環境の充実
- 常設の遊び場づくり  
～全天候型の遊び場「こどもパーク」の整備
- 持続可能な「こどもひろば」の仕組みづくり  
～あそび、外遊びについての価値を研究、啓発

こどもひろばを  
寄附で応援!

瀬戸内市ふるさと納税  
ポータルサイト



こどもひろば  
Facebook



こどもひろば  
Instagram



